

マスク着用に関する 主な業界の対応	 鉄道	着用を呼びかける放送の取りやめ(JR東日本)
	 バス	混雑時の着用推奨を周知
	 航空機	乗客、従業員ともに個人の判断に委ねる
	 コンビニ、百貨店	入店時の着用は客の判断に任せる。従業員の着用は推奨
	 映画館	個人の判断に委ねるが「せきエチケット」などの配慮を求める

政府は13日から、新型コロナウイルスの感染対策として国民に呼びかけてきたマスク着用の目安を緩和し、原則として個人の判断に委ねる。5月8日に予定される新型コロナの「5類」移行に先行し、社会の正常化を図る。

現在の目安では屋内では原則着用を推奨し、屋外は、近距離で会話する場合を除いて不要としている。13日以降は医療機関や高齢者施設を訪れる際や、混雑した電車やバス内のみ、引き続き着用を推奨する。これまで同様、着用の推奨に法的な拘束力はない。

大勢の人が訪れる施設や店舗については、各業界が感染対策の指針を改定するなどし、顧客に周知する。ただ、一部を除いて客に委ねる業界が多く、着用するかどうかは混雑の具合や、高齢者など重症化リスクの高い人が周囲にいるかどうかなど、状況に応じた判断が求められるようだ。

JRや私鉄各社でつくる「鉄道連絡会」は運用指針を改定し、「(各事業者が)マスクの着用への協力を利用客に呼びかける」とする記載を削除した。JR東日本は13日から、混雑時も含め、着用を呼びかける駅や車内での放送を行わない。

日本バス協会も着用の呼びかけを求める運用指針の記載を削除したが、路線バスの混雑時は、政府が着用を推奨していることを乗客に周知する。国内航空各社が加盟している「定期航空協会」は乗客、従業員ともに個人の判断に委ねる。

セブン-イレブン・ジャパンなどのコンビニ大手3社は、入店時のマスクの着用を客の判断に任せ、従業員には着用を推奨する。三越伊勢丹ホールディングスなどの百貨店各社、外食の日本マクドナルドなども同様の方針を示している。

一方、東京ディズニーランドと東京ディズニーシーは来場者、従業員のいずれも個人の判断に任せる。カラオケ店「ビッグエコー」も同じ対応だ。

